

2023年10月31日

各位

株式会社三井住友銀行

JPリースプロダクツ&サービスズ株式会社に「SDGs推進支援シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、JPリースプロダクツ&サービスズ株式会社（代表取締役社長：石川 禎二）に「SDGs推進支援シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進支援シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、JPリースプロダクツ&サービスズ株式会社及び同社が属するジャパンインベストメントアドバイザーグループにおいて、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 航空機のリース、コンバージョン・パーツアウト事業による資源循環の促進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
-------------------------	--

② 太陽光発電事業及びバイオマスエネルギー事業への参画を通じた再生可能エネルギーの導入促進

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標 17 パートナリシップで 目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

③ 多様な人材の活躍、多様な働き方を実現する取り組みの推進

目標 5 ジェンダー平等を 実現しよう	5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
---------------------------	---

<p>目標 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8.5 2030 年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働について同一賃金を達成する。</p>
---------------------------------	--

三井住友銀行では、「SDG s 推進支援シンジケーション」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

### SDG s 推進に向けた事業



- ◆ 中古機を中心とした航空機のリースアレンジメントサービス。
- ◆ リース期間を終えた航空機エンジンなどの再利用可能なパーツを売却するパーツアウト事業。
- ◆ リース期間を終えた旅客機を貨物機へ改造するコンバージョン事業。



- ◆ 太陽光発電事業を通じて再生可能エネルギーの活用促進に貢献。
- ◆ 日本全国で 25 拠点、合計で 71.3MW の発電出力（太陽電池ベース）の発電所を運営。
- ◆ 羊の放牧を活用した発電所内の除草。



- ◆ 早生樹を活用した林業と発電事業の持続的な共生の実証事業を国立大学法人東京農工大学や地方公共団体と連携して実施。
- ◆ 同事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業」へ採択。



- ◆ 社会課題となっている食品ロス問題を解決するため、食品廃棄物由来のメタン発酵バイオガスを燃料とした発電プラント運営企業へ出資。



- ◆ 管理職に占める女性比率の数値目標（2026年3月末までに20%以上）を設定。
- ◆ 女性従業員のキャリア意識を高めるため、キャリア研修やダイバーシティ研修、キャリア面談等を実施。
- ◆ 従業員の多様な働き方を可能にし、男性従業員への育児休業の積極的な取得を推進。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上